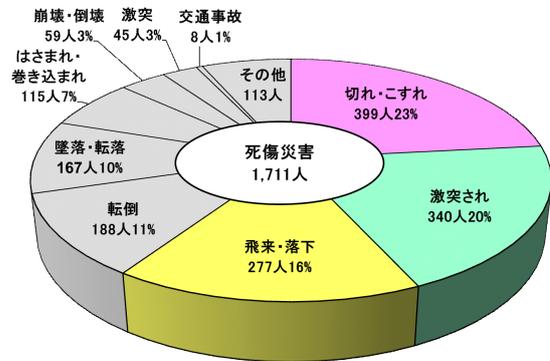
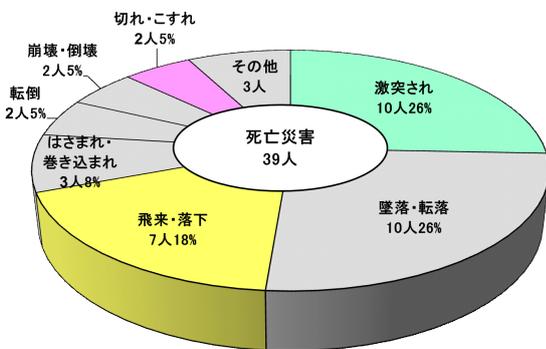


林業安全コラム

安全意識は命綱 しっかり締めて
目指そうゼロ災

○ 林業労働災害の現状について

○ 事故の型別の災害状況（平成25年）



平成25年における労働災害は、厚生労働省の平成26年3月現在の速報値によると、死亡者数については、39人で前年同時期比2人増。死傷者数は、1,711人で186人減となっています。

死亡災害は、伐倒木等の物に激突されたもの（激突され）、斜面等から転落したもの（墜落・転落）がそれぞれ10%を占め最大。死傷災害は、チェーンソー等による切創によるもの（切れ・こすれ）が全体の23%を占め最大となっています。

本年は既に12件（3月29日現在）の死亡災害の報告が該当県から寄せられており、災害多発の傾向が見られる大変憂慮すべき事態となっています。

○ ダニ刺咬に注意を！

ダニ媒介性疾患「重症熱性血小板減少症候群」については、ウイルスの国内分布調査結果（第二報）が厚生労働省から情報提供されたことを受け、「森林内等の作業におけるダニ刺咬に関する留意事項について」の注意喚起を本年2月に行ったところです。

予防対策として、ダニに咬まれないように長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用するなどして、肌の露出を少なくすることが大事です。また、刺咬された場合は、医療機関の診察を受けるよう心がけて下さい。



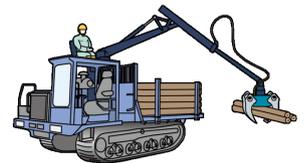
○ 林業労働災害の発生事例について（類似災害防止のために！）

【事例】

当日、被災者はグラップル付きフォワーダによる集材作業（原木の積込み運搬）に従事。

10:25頃、山土場において積載していた原木をグラップルを使用して荷下ろしをしていたところ、掴み上げた原木（L:5.0m D:40cm）の木口部分が何らかの原因でグラップルの操縦席で操作していた被災者の腹部に激突した。

【平成25年の死亡災害は、伐倒木等の物に激突されたもの（激突され）が最大！】



<お知らせ>

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業のうち、安全な器具機材の開発・改良に係る平成26年度補助事業参加者を公募しています。詳細は林野庁ホームページをご覧ください。
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/26koubo.html>

「春の全国交通安全運動」 4月6日～4月15日
「みどりの月間」 4月15日～5月14日

林業労働対策室
労働安全衛生班